

# 令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会

## 報 告 書



日時	令和元年9月25日(水) 午後6時30分～8時15分	
場所	東春コミセン	
参加者数	22人	
市側出席者	市長	北 猛俊
	副市長	石井 隆
	教育長	近内 栄一
	総務部長	稲葉 武則
	市民生活部長	山下 俊明
	保健福祉部長	若杉 勝博
	経済部長	後藤 正紀
	建設水道部長	小野 豊
	教育部長	亀淵 雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上 勝義
	企画振興課長	西野 成紀

## 【市長 開会のあいさつ】

本日は、東町と春日町のみなさんに夜分お疲れの中、集まっていたいただきお礼を申し上げます。  
昨年の地域懇談会では、JRと市庁舎の関係でご意見をいただき、参考にしているところです。  
JR北海道に対する緊急的、臨時的な支援ということで、北海道が1年間に2億円を支援することを決定しました。今日が最終日の定例会では、150万円を9月補正予算に計上し、今日の議会で決定したところです。この支援は赤字補てんではなく、JR北海道が乗客の利便性向上を主に取り組んでいくものです。これをもとにして、令和3年に行われる国の法改正において、自治体と北海道全体の思いを国に届けるねらいがあります。

今日の地域懇談会のテーマは「これからの富良野市のまちそだて」です。令和3年度から始まる第6次の総合計画の中に、市民のみなさんの意見を盛り込んで、市民のみなさんにとって利便性があり、このまちに住んでよかったこのまちに住んでみたい、と思わせるようなまちづくり努めていきたいと思います。その後、新庁舎基本設計の説明もさせていただき、地域の課題についても伺いたいと思います。

まちづくりは協働がテーマです。この協働が語られるようになって何年も経ちますが、本当の意味での協働は、行政が一方的に事業の在りようを伝えるのではなく、みなさんと一緒に事業の中身を考え、実行していくことが重要です。そのことが「これからの富良野市のまちそだて」につながっていくと思っています。

## 【懇談会の意見と回答】

### 産業（農業）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
東郷ダムの利用価値はどうなっているのか	東郷ダムは昭和47年に着工し、令和2年度に完了します。市の負担は10億円くらいで、12年かけて返済しますが、返済金に国が補填する過疎債を活用しようと考えています。ダムは当初430万tでしたが18万tに減りました。農家戸数が減り、水田が畑作になって利用水量が減少しています。実際、水はそのくらいしか溜まっていない状況で、受益者分の水は確保できています。

## 保健・医療（地域医療）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>地域医療は、予約をして通院しても待ち時間が長い。</p>	<p>昨年の4月から協会病院で内科医の固定医が不在となりました。医師会と連携して取り組みを進め、今年の9月から固定医を1名確保できたところです。今後も、内科医の固定医を2名体制にするために努力をしていきたいと思っています。産科医は2名体制が1名になり、出産を制限することもありましたが、現在は2名体制となっています。しかし、助産師が確保できないという厳しい状況が続いています。今後も、内科医、産科小児科医の医師確保に力を入れていきたいと思っています。市民のみなさんからも医師の情報をいただきながら医師確保に努めます。</p>

## 福祉・社会保障（子育て）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>富良野市の基本理念は協働ということだが、現場サイドでは不十分に感じる。例えば、ファミリーサポート事業は、隙間を埋めるようなものになっていない。病児や病後児で困っている人を実現できていない。</p>	<p>ファミリーサポートセンターは、子育ての隙間をうまく利用していく制度ですが、まだ不十分なところもあります。病児・病後児は受け入れる体制づくりを進めているところです。これからも、子育て世代のお母さん方のニーズに応えられるように取り組んでいきたいと思っています。</p>

## 福祉・社会保障（高齢者福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>文化会館で行われている認知症研修会に参加したとき、認知症は誰でもなるし病状は確実に進んでいくと言っていた。認認介護のように認知症の人が認知症の人を介護するケースもあるらしいが、その場合は行政や民生委員を頼る必要があるとの話しだった。市の現況や対応を教えてください。</p>	<p>介護保険制度が始まって20年になります。認知症の理解も進んできました。市では予防として、サロン、ふまねっと、認知症カフェ、医療機関の予防教室に取り組んでいます。認認介護の場合は、町内会や民生委員などの近い人に相談してもらい、地域包括支援センターや社会福祉協議会などにつないでもらうことが大切です。</p> <p>今年の新しい事業で、権利擁護センターが開設しました。認知症の人の家計のやりくりや保証人の対応、亡くなったあとの片づけなどができるようになりました。市が社会福祉協議会に委託して実施していますので、まずは市の地域包括支援センターか社会福祉協議会に相談していただきたいと思います。</p>

## 防災・防犯（防災体制）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>昨年地震で停電になったときのこと。この地域は地下水が多いので停電になると水が使えなくなる。去年は、公園の水道にみんな並んでいた。できれば、コミセンを解放して水道水の給水をしてほしい。</p>	<p>市では、ふれあいセンターを開放して給水していましたが、コミセンを使うことは非常に良い案だと思いますので、検討したいと思います。</p>

## 基盤整備（市庁舎建設）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>起債を30年で返済していく。人口が減って収入が減っても毎年の返済額は変わらないのか。今の段階で試算したもので良いので30年間の返済資料を出して説明すると納得できる。情報が見える化をしてほしい。</p>	<p>30年後の試算はしています。市の事業をやる時は、いままでも借金をして実施しています。返済する借金が終わってくるものもあるので、滞りないように進めていきたいと思っています。試算した内容は広報でお知らせしていますが、提案された内容は今後の参考にさせていただきます。</p>

## 都市基盤（空き家・空き地）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>空き地の管理について、他市町村では所有者に連絡して解消していると聞くと聞くと、市ではどのように対応しているのか。</p>	<p>市では、空き家は条例にもとづいて所有者に連絡を取って空き家の管理をお願いしています。空き地は環境課で同じような対応をしています。他市では空き家と空き地を同じ条例にして、同じ部署で対応している市もあります。将来的には窓口を一つにできればと考えています。</p> <p>空き地は、苦情があったときに所有者に連絡していますが、実際は所有者が市外にいる場合が多く、管理していただけないことが多いです。</p>
<p>東町では、独居高齢の人が住まなくなった空き家が増えてきた。何年も経つと草木が伸びて迷惑になる。市に相談に行ったら個人情報で教えられないと言われた。できれば市が所有者に連絡し、近隣の環境管理をしても良いと許可をとってもらいたい。そうすれば草刈</p>	<p>ご近所の方に、所有者を教えてくださいと言われても教えられません。臭いがひどいとか草木が伸びて問題がある場合は、現地を確認して、市から所有者に連絡します。しかし、一時的な施設入所や道外に転出していることも多く、連絡先を調べるのに時間がかかること</p>

<p>りができる。</p>	<p>もあります。家族がいて直ぐに対応してくれることもあります。文書を出しても反応がないこともあり、苦慮しています。そうした場合は、個別案件として環境課で対応していますので相談してください。</p> <p>市から書類を送付しても、転送扱いになっていると、転送先の住所を調べることができないため、連絡をとることが困難な場合も多くなっています。</p>
<p>所有者に限らず、親族に連絡を取ることはできないのか。高齢者の場合は市のサービスを使っているのか。緊急の連絡先は担当課で知っていると思うが、そうした情報も活用できないのか。</p>	<p>市民相談室でも多く受け付けている案件です。個別に対応しています。</p>
<p>これからも転出して空き家になる家が増えてくる。市民課で転出の手続きをするときに、空き家になる場合には、近隣住民に迷惑になるときは関係機関に情報を提供しますとか、草刈りをしてもらいたいという承諾をもらっておくようなことはできないか。弁護士や法律の専門家に確認して、対応してほしい。</p>	<p>個人情報保護法で保護されていますが、本人の承諾があればできるものもあります。</p>

## 基盤整備（都市基盤整備）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>東雲通りの改良工事で現場事務所や資材が公営住宅の空き地に置かれている。公園が隣接している場所。今年の夏は暑くて窓を開けると工事車両の砂埃が入ってきた。散水をお願いしてもしてくれないし、交通誘導員もいなかった。来年以降、民家のないところに現場事務所を置いて、工事概要の説明もしてほしい。</p>	<p>今年の工事は終わり、現場は片付いています。土場や運搬経路は周辺の環境や交通安全に留意するように指導していますが、手落ちがあったものと思います。工事期間中であれば早急に対応しますので、ご連絡をいただきたいと思います。工事説明は、町内会とも話しながら参集範囲を決めていますが、土場や運搬経路の周辺住民には回覧版などでも周知して</p>

---

いきたいと思います。次年度以降も工事はありますので、土場の場所は再度検討したいと思います。

---

## 【市長 閉会のあいさつ】

### 行財政運営（ICT活用）

住んでいる方々が行政に求める要望や意向は、たいへん多岐に渡っています。人口減少と高齢化社会の変化に対応するための施策が必要になってきます。施策と同時に人も必要です。情報通信技術やロボット技術を活用して、人の手間を軽減できないかという取り組みです。

保育所や幼稚園が10月から無償化になります。無償化に対応するために必要な入所手続きでは、これまで書類で行われていたものを自動化して手間を省いていきます。その手間が省けたところに、多様な要望に応えるための人を配置していくことが可能になってくると思っています。そうすることで、市民のみなさんの利便性を上げていくことが、一つの目標です。

子育て支援や地域医療、高齢者の認知症対策などにも、こういうかたちで人を配置できる体制をつくっていきたいと思っています。

### 保健医療（地域医療・健康づくり）

医療と健康づくりは連携が必要ですが、情報通信技術を活用して日々の生活を医療機関や市の保健センターなど、健康を管理していく機関につなげることで、どういうことを改善したら健康を維持できるのかということにつなげ、超高齢社会を健康でいられるための取り組みが必要だと思っています。

そうしたことが次の総合計画のなかで求められてきます。今日の意見を参考にして充実した総合計画を作り上げていきたいと思います。

### 市民協働（対話によるまちづくり）

地域の要望も参考にし、改善に向けて努力をしたいと思っています。みなさんの要望や意見は、いつでも聴ける体制になっていますので、気軽にご意見やご要望を出していただきたいと思っています。市長トークや出前講座もあります。そうしたもの活用して、市民のみなさんとの協働でのまちづくりに努めていきたいと思います。

## 【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
29歳以下	男性	新庁舎建設を市民に納得させるには、返済プランをわかりやすく示すしかない。自信がある計画があるなら示してほしい。
40-49歳	男性	2020年度からスタートする小学校のプログラミング教育（倫理的思考）について体系的な学びが必要。地元の情報関連企業などとの連携や中学校との継続性を視野に入れた取り組みが求められる。